

第3期の振り返り

行事の継続と担い手を増やす取組

- 「さちが丘連合自治会」の催しを動画で記録し、ビジュアル資料を作成した。
- 敬老会のイベントを外部委託、行事への炊飯器の利用等の業務改善により担い手の負担を軽減した。

- 旭まつりで太鼓を叩く人がいなくなり、募集したところ、若い人のグループが叩いてくれることになり、担い手が広がった。
- 地域の防災対策への準備を整え始めた。

地域福祉保健施設の分布



実際の地区範囲は、町・丁目単位とは限らず地図上に正確に表すことは困難なため、おおよその範囲で表現しています。地域の状況を把握するための参考データとしてお取り扱い下さい。背景図：横浜市都市計画基礎調査

施設リスト

子ども施設

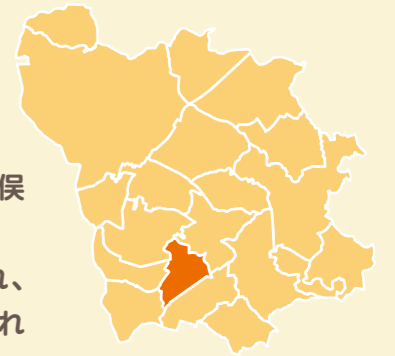
- ◆ 認可保育所
 - ① 旭はるかぜ保育園
 - ② 保育園夢未来二俣川
 - ③ 太陽の子さちが丘保育園
- ◆ 小規模保育事業
 - ④ すずらん二俣川保育園
 - ◆ 幼稚園
 - ⑤ 横浜三輪幼稚園

高齢者施設

- ◆ 小規模多機能居宅介護
 - ◇ ミモザ横浜南万騎が原
 - ◆ 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)
 - ◇ サニーライフ南万騎が原

第4期 きらっとあさひプラン

さちが丘地区



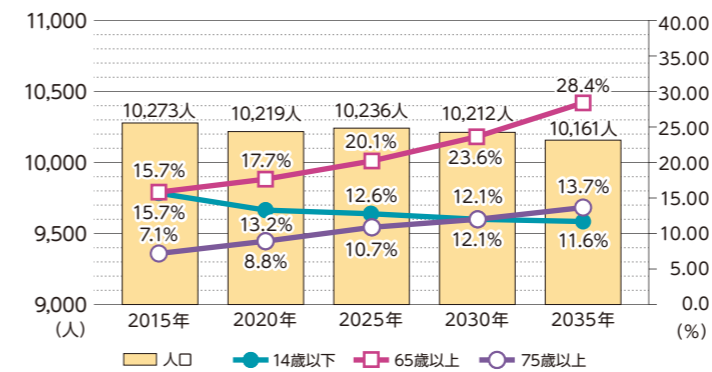
さちが丘地区は、区の南部に位置し、相鉄線の3駅に囲まれた区域で、二俣川が3筋に分かれているあたりの低地と丘陵地からなる地区です。

さちが丘は、昭和39年二俣川町、小高町、万騎が原の一部より新設され、町名は住民投票により「さち(幸)が多いように」との願いをこめて名付けられました。

DATA

将来人口推計

出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯と男女別人口」(各年3月末現在)

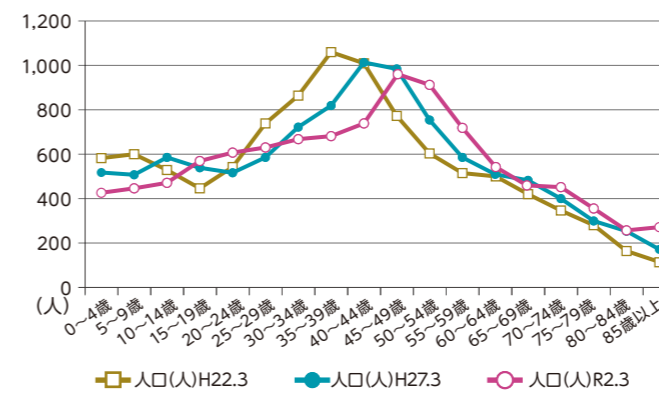


将来人口推計は、総じてわずかに減少すると推測され、65歳以上の比率は2035年までに25%を超えます。

14歳以下の比率は、2035年に11%台になることが推測されます。

年齢5歳別人口の動向

出典：横浜市統計ポータルサイト(各年3月末現在)



平成22年には35～39歳であった5歳別人口数のピークは、令和2年には45～49歳となっています。また、平成22年・27年に比べて年少人口は減少、70歳以上の5歳別人口は増加しています。

65歳以上の高齢者の割合は、平成27年には15.7%、令和2年には17.7%となり、やや高齢化が進んでいます。区平均の29.2%は大きく下回っています。

人口、世帯数、年齢別人口等の動向

	H22	H27	R2	H22～R2 増減数	H27 構成比(%)	R2 構成比(%)	R2 区平均 構成比(%)
総人口(人)	10,110	10,273	10,219	109	100.0	100.0	100.0
0～14歳(人)	1,703	1,615	1,351	▲352	15.7	13.2	11.6
(内0～6歳)(人)	814	717	618	▲196	7.0	6.0	4.9
15～64歳(人)	7,073	7,045	7,058	▲15	68.6	69.1	59.2
65歳以上(人)	1,334	1,613	1,810	476	15.7	17.7	29.2
(内65～74歳)(人)	769	888	910	141	8.6	8.9	13.2
(内75歳以上)(人)	565	725	900	335	7.1	8.8	16.0
総世帯数(世帯)	4,265	4,404	4,631	366	-	-	-
平均世帯規模(人/世帯)	2.37	2.33	2.21	▲0.16	-	-	2.13

出典：横浜市統計ポータルサイト「町丁目別世帯」、「町丁目別年齢別男女別人口」(各年3月末現在)

※人口・世帯数の数値は町丁目別単位での集計のため、町丁目地区をまたぐ等により、実際の数値と一致しない場合があります。

私たちが描く地区の未来図

『誰もが安心して豊かにくらしていけるまち』

高齢者が生きがいを持ち、地域で子育てを応援できるまちにし、それを次世代に引き継げるようにして、誰もが安心・安全なまちを目指します。

目標と主な取組

目標 A 地域の担い手を広げる

- ④ 若い世代の転入が増えているが、地域の担い手不足は解消していないので、若い世代が関心をもち参加できる取組をする。
- ④ 担い手の負担を減らし、多くの人が得意な分野で気軽に参加してもらえるようにするとともに、一人一人の活動の効率化を推進して、見える化を図る。
- ④ 他地区の成功事例を見学し、中心となって活動している方々を招いての研修を実施する。



▲避難訓練 炊飯器の使い方



▲防災訓練 心肺蘇生訓練



▲ふれあい福祉まつり

目標 B 高齢者が生きがいを持とう

- ④ リタイア後も地域住民と新たに交流できるきっかけを作る。
- ④ お茶のみサロンや敬老会等の交流する機会を継続し、充実を図る。



▲お茶のみサロン 元気



▲敬老会 パブリカ演奏



▲ふれあい福祉まつり

目標 C 地域で子育てを応援しよう

- ④ 地域に住む親子が交流する子育てサロンを継続・拡張する。また、子育てに悩む親が孤立しないように支援する。
- ④ 旭まつりを含む各自治会の盆踊り・防災訓練・大運動会・ふれあい福祉まつり等の行事にはたくさんの子供が参加している。それを継続しながら子育て支援につなげていく。



▲旭まつり これが故郷



▲子育てサロン竹の子クラ



▲子ども神輿

目標 D 誰もが、ともに生きるまち

- ④ 誰もが参加できる地域行事を継続するとともに、多くの人に参加してもらえるように工夫する。
- ④ 新しい住民や若い世代が増えているので、地域との関わりに参加してもらえるような工夫をする。
- ④ 互いを気にかけて見守り合い、困ったときには声をかけ、支え合えるまちを目指す。
- ④ いざという時のために備えて、安否確認を行うための取組を進める。
- ④ 高齢者・帰宅困難者の家族など、支援が必要な人達を地域で支える仕組みづくりを行う。



▲ふれあい福祉まつり



▲赤い羽根募金



▲大運動会 徒競走

推進体制

さちが丘地区社会福祉協議会…

自治会・町内会、民生委員・児童委員協議会、保健活動推進員、老人クラブ、青少年指導員